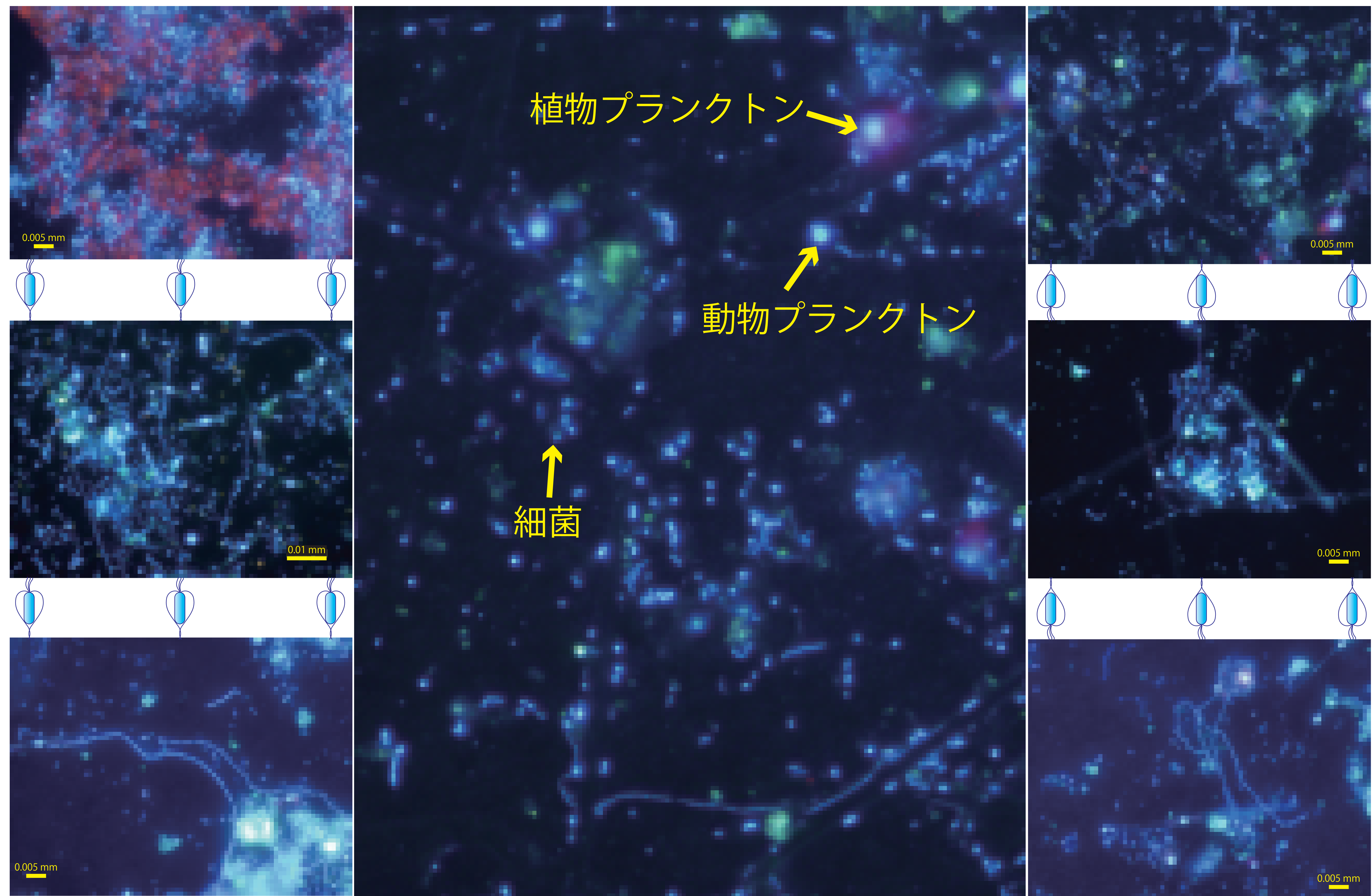


養殖場環境のミクロの宇宙

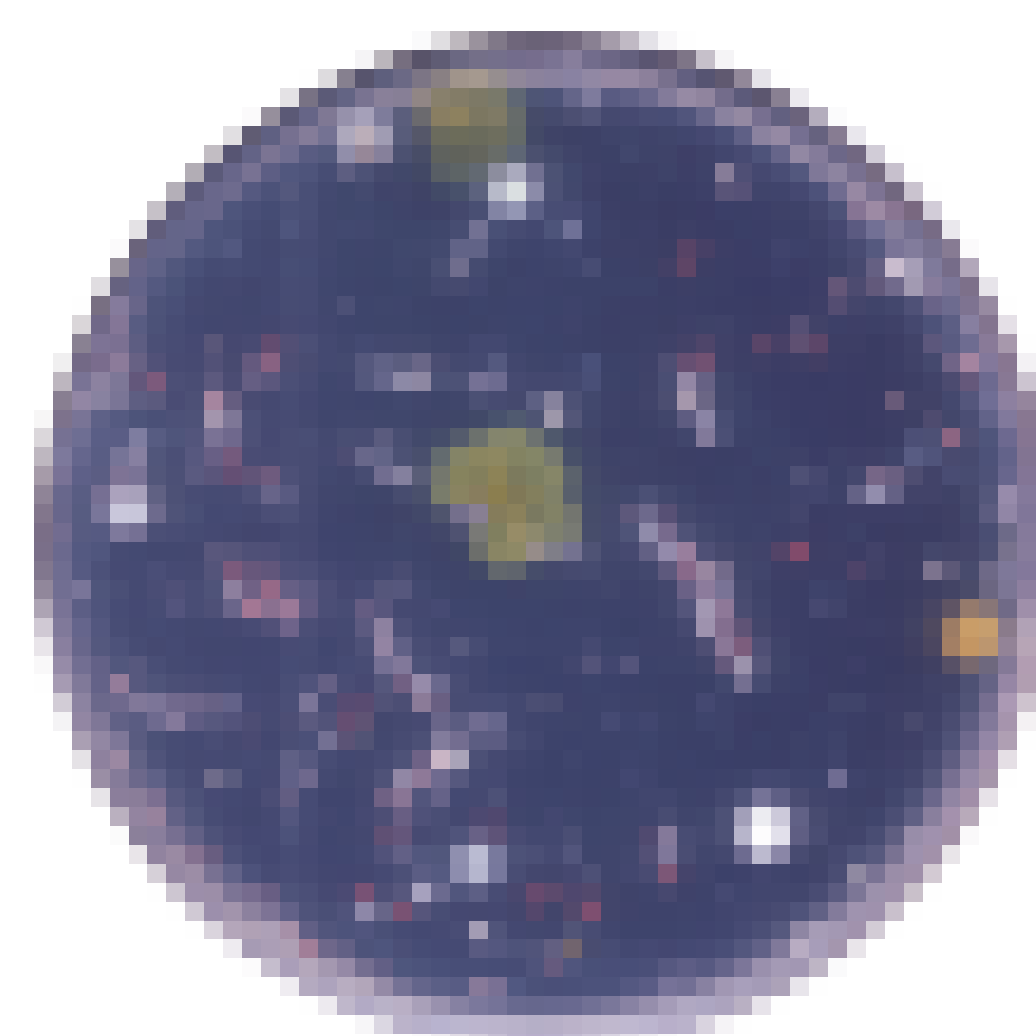
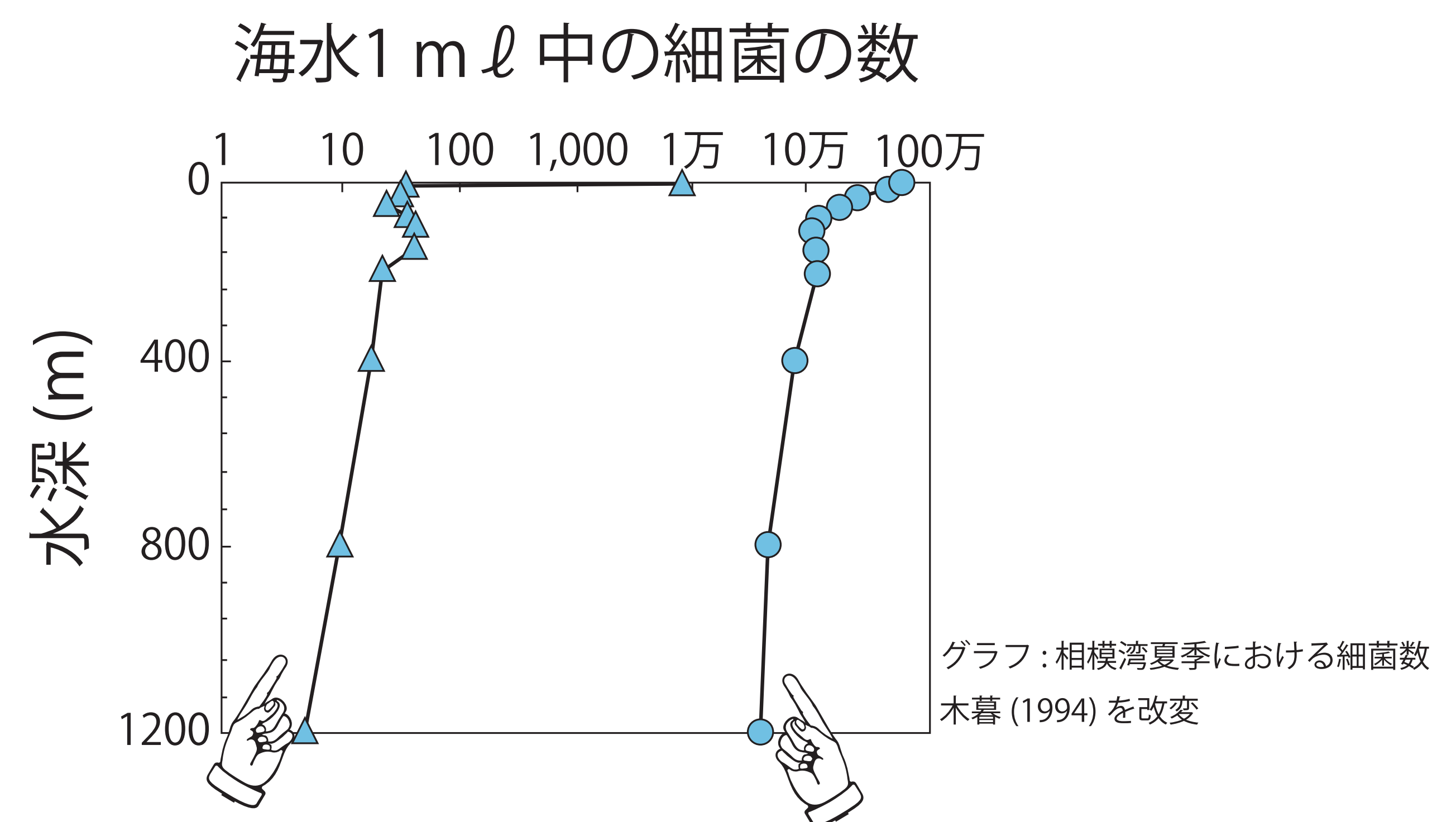
環境グループ（水族環境学研究室）

養殖場環境には、養殖魚やいけすについた海藻など、たくさんの目に見える大きな生物がいます。それ以外は、一見すると“ただの水”。その“ただの水”を、顕微鏡を使ってのぞいてみると、まるで宇宙のようにきれいで、ダイナミックな世界が広がっています。

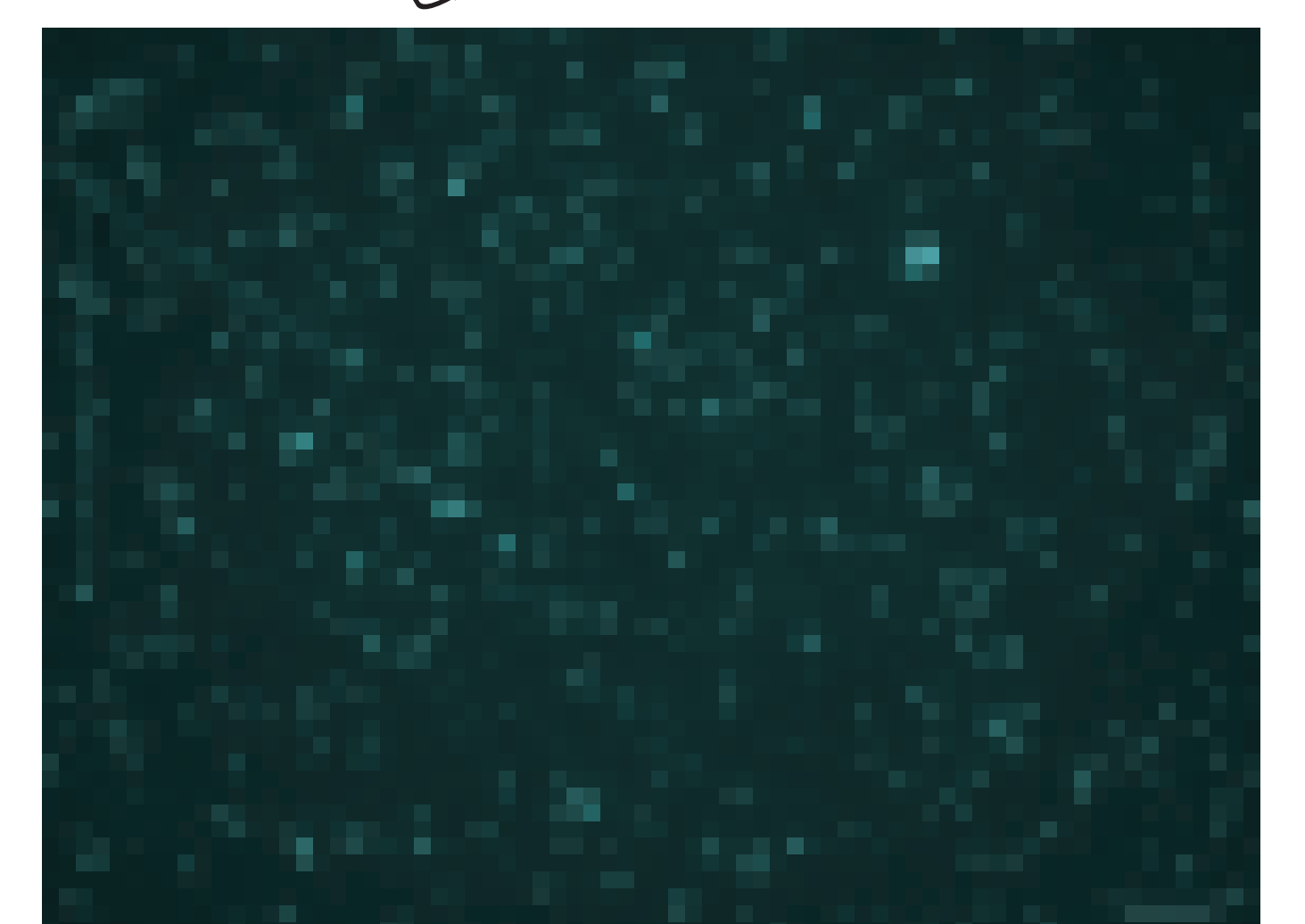


～ ミクロの宇宙に魅了されて～

1980年代に、DNA（核酸）を染色し、蛍光顕微鏡を使って細菌を計数する直接計数法が急速に普及した。当時は、寒天培地を使った培養法で計数するのが主流であったが、培養法による細菌数は、蛍光顕微鏡によるものの、100分の1にも満たないことがわかった。かれらは、いったい何者なんだろう、何をしているんだろうか、そもそも生きているんだろうか... 当時の研究者たちは、星空のように光りかがやく微生物たちの生態に思いをはせ、微生物生態学研究にその生涯をささげた。



培養法



蛍光顕微鏡による直接計数法